やったあ！みんなの力でつかんだ1席！！

三年ぶりの受賞に大喜び

先日の学校新聞コンクールで「タモトユリ」が一席をいただくことができました。この一席は新聞委員会だけではなく、記事を作っている児童生徒十三人全員でとったものなので、とても嬉しく思いました。

これからも、「タモトユリ」の記事を毎月みんなで書いていくので、島民の皆さんが分かりやすいように内容をよく考えて、工夫をしていきたいです。そして、次回も一席がとれるように児童生徒十三人で全力を出して頑張っていきたいです。

≪中二

タモトユリ
11月号
十島村立
口之島小中学校
児童生徒会新聞
11月28日発行

私が一番意識して取り組んだのは、特集記事です。質問の内容を決めて取材を行い、まとめます。取材は、自分たちが気を付けることが多すぎて、なかなかうまくできませんでした。しかし、少しずつできることを増やしていくと、取材のしかたが上手になってくるのを感じました。また、児童生徒全員がそれぞれの記事をしっかりと書いてくれたから、より良い新聞を作ることができました。次の新聞委員には、取材はもちろんですが、地域の方に喜んでいただけるような新聞を作っていってほしいです。

≪小五

僕たち新聞委員会は、「新聞コンクール」で一席を受賞することができました。僕たちが特に頑張ったのは、特集記事です。僕たちが、島民の皆さんがインタビューに協力して下さったので、口之島の観光スポットについて、昔の様子などをたくさん知ることができました。本当にありがとうございました。また、新聞全体で面白さや読みやすさを出すように工夫することもできました。後期も新聞委員として頑張っていきます。これからも僕たちが作った新聞を読んで下さい。よろしくお願いします。

≪小六

これからも新聞作成がんばります！

大きく，おいしくなあれ！

十一月二日に野菜植えがありました。最初は土がとても硬かったので、柔らかくするのが大変でした。頑張って土をほぐした後に、タネをまきました。僕がまいたのは、白菜、水菜、しゅんぎくです。タネをまいた後に、肥料をやって、水やりをしました。ジョウロが重くてとても大変でしたが、先生にも手伝ってもらって、しっかりと水をやることができました。早く芽が出てほしいです。

≪小二

十一月二日に野菜植えをしました。僕はキャベツを植えましたが、土をほぐしたりして植えるまでがとても大変でした。苦労して植えたので、きく育って欲しいと思います。そして、たくさんのキャベツを収穫して、いろいろな料理に使ってもらいたいです。おいしいキャベツが育つように、水やりなどをしっかりとしていきたいと思います。

≪小三

タモトユリ調査隊
島の暮らしを支える人々

水道について知ろう

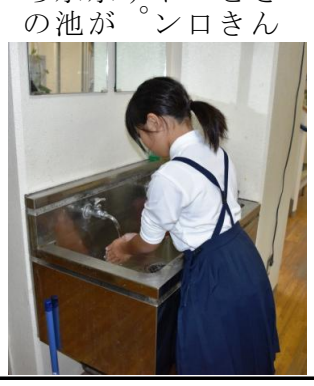
今月号からのタモトユリ調査隊は、「**島の暮らしを支える人々**」と題して、私たちの生活に欠かせない水道、電気などのライフラインを支える人々について調査をします。私たちが、ここ口之島で暮らしていけるのは、多くの方々がライフラインを守っておられるからです。その仕事の内容を詳しく知ることで、より大切にしていくことができると思います。今月号は、水道の仕事についてさんにインタビューをしました。

さんたち現業員の皆さんは、水道の管理と漏水したときに直す仕事をされています。一日に約一〇八トンの水が使われているそうです。その水は、水源地（山から水が出ているところ）から、配水池というところに行き、私たちの家に送られています。配水池にはタンクがあって、機械で自動的にカルキを調節しながら入れているそうです。きれいな状態を保つために、一年に一回は現業員の方々がタンクの掃除をされています。

さんが一番大変なのは、漏水があったときだそうです。水道管が老朽化してきているので、破れて水が漏れることがあります。どこから漏れているか分からないと、とても困るそうです。

口之島はとても水が豊かな島で、雨が降らなくても水源地からたまった水が湧き出してくるそうです。だから、雨が何ケ月も降らなかったとしても水不足になることはほとんどありません。また、水質も他の島々と比べてとても良いそうです。山々がたくさんの水をたくわえ、きれいにしてくれるからで、さんは口之島の山々を「宝の山だ」とおっしゃっていました。

水道の料金はそれぞれの家に着いているメーターの水量を二ケ月に一回はかり、計算しています。十島村は、水道料金が他市町村よりもかなり安いそうなのですが、今後は値上げをしていく必要があるそうです。これまで以上に、水を大切に使っていきたいと思いました。

今回の取材を通して、口之島はとても水に恵まれた島なんだなと思いました。また、私たちがいつも水を飲むことができるのは、現業員の方々のおかげだと思いました。

さん、ありがとうございました。